

## 顧客のニーズに合わせて情報提供するためにも、システム活用が必要ですよ。

顧客ニーズの変化とともに、資料を提供するタイミングや形式に事務所カラーを打ち出し、海外進出する顧客先のサポートや、MJSシステムを利用したペーパーレス化にも取り組まれている神谷研税理士事務所。さっそく、神谷研所長にMJS名古屋支社の石川支社長が聞いてみた。

**石川** 神谷先生とMJS名古屋支社とは長いお付き合いと聞きました。

**神谷所長**（以下敬称略）開業する前に勤めていた会計事務所時代からMJSシステムを利用してきます。もう30年以上になります。導入当初は、操作指導などほとんどなかったで自分でマニュアルを読み砕いて覚え、自分が理解できたら他の職員に教えるといったことをしていました。そういう意味では、MJSの社員の方より私のほうがシステムに詳しくあったと思います（笑）。

**石川** MJSシステムの良さはどこにあると思われませんか。

**神谷** 会計ソフトとしての設計思想ですね。私が利用

し始めたときから「テンキーだけで全入力ができる」、「仕訳入力画面のレイアウトが見やすい」など、会計事務所が仕事を効率的に行えるよう考えられていました。それは今のACE LINK NX-Proにも継承されています。特に顧問先訪問時にノートパソコンで入力ができるようにしたのはMJSが一番早かったと思います。開業時は私一人でしたから、顧問先とのパソコン通信に強いMJSのシステムしか考えられませんでした。これがMJSを使い続けている理由のひとつです。

**石川** 顧問先の自計化も積極的に行なわれていますね。

**神谷** 接続するたび「ピッポッ」とモデムが反応するCompassの時代から行っています。自計化した顧問先がスムーズに仕訳入力ができるような工夫もしています。

**石川** 具体的にはどのようなことで

すか。

**神谷** 仕訳入力を止めないということですね。勘定科目に「不明勘定」を用意しています。科目がわからなくなったら不明勘定を使っていたできます。そのため、職員は不明勘定を中心に確認し、顧問先への指導をおこなうことができます。繰り返すことで、志の高い方は最終的に不明勘定を利用することがなくなります。これは必要な科目を自由に設定できるMJSのシステムだからできることです。この不明勘定はMJSからのアドバイスがヒントになっています。MJSの社員の方と話をするなかで、関心ことも多々あります。

**石川** それはありがたいことです。他にもシステム活用法はありますか。

**神谷** 固定摘要残高管理の活用ですね。新しい機能ではありませんが、昔からMJSは固定摘要で残高管理ができますから、本当にありがたいシステムです。職員の中には、MJS以外のシステムを利用していただけ者もいます。固定摘要残高管理には感動していました。補助を設定しなくても科目の詳細が管理でき、日々の入力を行うだけで補助簿が自動的に作成でき



MJS名古屋支社長  
石川 哲士

るわけですから、売掛帳や買掛帳との照合にも活用できます。また、科目内訳書とも連動できますから決算の早期化にも繋がります。さらに補助の枝番として設定すれば、様々な管理に利用できます。そういった基本的でありながら、汎用性の高い機能がMJSのシステムにはあるんです。

**石川** 業務改善による早期決算を目指されていると聞きましたが。

**神谷** 職員は40日で決算処理を行っています。半年前、1カ月前と決算の予測は行いますが、突然新たな事実が出てきて決算数値が大きく変わるときがあります。そういうことも想定して、決算を早期化し、納税予定額を顧問先にできるだけ早く知らせることが大切だと考えています。

MJSには決算予測機能がありませんから、決算の予測から概算の税額までが簡単に試算してみることができず。これらを活用することで、「試算表という過去の資金繰り表」から未来に向けた提案へと転換していきます。

**石川** すべてのお客様に決算予測をと考えられていますか。

**神谷** 発生主義で会計処理を行っている顧問先を中心に行っています。しかし、それ以外の顧問先にも月末に洗い替えを行い、なるべく決算時に大きく数値が変動しないようにしています。そこで、会計大將の中の「定型仕訳」に注目しています。振替仕訳を定型化して毎月入力を行うことで、決算の精度も上がると考えて模索中です。

**石川** 最近、定型仕訳を活用される方が増えています。

**神谷** ミロク会計人会連合会の情報ネットワーク委員会に参加し、定型仕訳の良さを実感しました。決算仕訳を定型化しておけば、決算時に必須の仕訳の確認と、処理忘れが無くなるというメリットが生まれます。これで正確な決算の早期化に繋がります。

**石川** ペーパーレス化の取り組みはどのようにされていますか。

**神谷** eTaxもeLTaxも100%行っています。紙ベースの申告は国税が受け付けていない相続税と

贈与税だけになりました。

これを機に事務所控も印刷しないようにしました。控はMJSシステムのリバの中です。コピーのカウンター料金は毎月基本料金でも余るようになりまし。これも電子申告データを自動作成してくれるMJSの電子申告システムのおかげです。

**石川** 顧問先とのかかわりの中で近年変化はありましたか。

**神谷** コンサルティングの要素を多く求められるようになりました。顧客は税理士は何でも知っていると、相談してきます。ですから、資料も毎月同じものを提供するのではなく、顧客ごとにその時期を見て適切なタイミングで説明するようにしています。それが会計事務所の色であり、各所長の考えが生きてくる部分だと思います。

**石川** 顧客に合わせた資料を提供するというのですか。

**神谷** 業種によってもニーズは違ってきます。試算表の並び順序でも一般的には流動性配列法ですが、固定資産がメインになるような業種では固定性配列法が良いでしょう。単純に「これしかない」ではなく、事務所独自の色を出していく必要があると思います。また、提供帳票は顧問先ごとに変えるようにしています。そういう意味でも、顧問先に提供する帳票を登録でき、試算表の印刷順序を99種類も

使えるMJSシステムだからこそ、その色を出すのに役立つています。

**石川** 最近は業種に特化した事務所も出てきましたか。

**神谷** 前から海外進出する企業のサポートをしています。中国に進出している顧問先からは質問が容赦なくきます。書類関係のペーパーレス化はできましたが、勉強のための本が逆に増えてしまいました(笑)。

これからは海外進出する企業が増えてきます。日本国内のことしかわからないとなれば、顧客は離れてしまいます。できればMJSシステムも海外に目を向けた機能を持たせるとありがたいですね。

**石川** インターネットの普及で仕事のあり方も変わっているのですか。

**神谷** 海外や日本のどこにいても事務所のパソコンが操作できるiCompassリモートPCは、今後はもっと活用されていくでしょう。私は入力など長時間使用する時はオフラインモジュールで、持ち出していないデータの処理をする時はリモートでと、うまく使い分けています。顧客から突然、前年の話をされてもiCompassリモートPCならすぐにデータを確認できます。

**石川** 最後にACELINK NX-Proをご利用になられた感想はいかがですか。

**神谷** 動きが速くなりました。また、仕訳入力画面の操作性がアップして入力が楽しくなりました。特に自動的に進捗管理がされる機能を使い出したら離れられないでしょうね。蓋を開けたらびつくりという進捗が出てくるかもしれません。まだ、慣れていない部分もあるのでこれから使いこなしていきたいと思います。

**石川** 本日はありがとうございます。



神谷 研 所長

取材事務所：神谷研税理士事務所  
所長：神谷 研  
〒446-0059  
愛知県安城市三河安城本町  
二丁目1番地4  
第一東海ビル403号室  
TEL.0566-77-2099  
導入システム/  
ACELINK NX-Pro

※「ACELINK NX-Pro」、「iCompassリモートPC」「Compass」は、(株)ミロク情報サービスの商標または登録商標です。その他、掲載された会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

月刊

税理士事務所

# CHANNEL

●監修●  
ミロク会計人会連合会

2012.2

No.366



撮影：長谷川 敬三 場所：「あご湾」の真珠養殖筏風景（三重県志摩市和具）

## 2 まるごと中部会

- 事務所訪問 ● 古口美知子税理士事務所 …… 2
- 百年企業 ● おぼろタオル (株) …… 5
- シリーズ企画 ● スマートフォン入門 その① …… 6
- MJS サービスを活用した事務所経営 ● 神谷研税理士事務所 …… 8
- 我が事務所の顧問先紹介 ● エヌケイエス (株) …… 10
- ご当地自慢 ● 岐阜県高山市 …… 12
- 連合会 INFORMATION ● Web 専門図書 Bookstore のご案内 …… 14
- ミロクシステム Q&A ● 『ACELINK Navi 年末調整 / 個人決算書 (よくあるお問い合わせ)』 …… 15
- リレーエッセイ ● 中部ミロク会計人会 大橋俊彦 …… 19

★次号は“まるごと沖縄会”です。